



# 第4回 KEC製品安全フォーラム

## DX時代の製品安全の取組み

近年、ネットワーク化、ソフトウェアによる自動化、モバイル化等の技術革新に伴い、製品カテゴリが多種多様になってきています。このような製品の多様化に伴い安全を確保する取組も様々な視点から対応が求められます。特に、DX時代を迎え、これまでハードウェア単体での製品安全の確保が中心でしたが、ソフトウェアの介在や、自動運転やロボット機器に関係する人間との協調による安全確保など、新たな視点で考えていく必要があります。本フォーラムでは製品安全の確保のための原点を再認識しつつあらたな潮流のなかでの製品安全に対する取組みを議論していただきます。

<b>日時</b>	<b>2023年2月20日</b> [月] 13:00~17:00	<b>開催場所</b>	<b>Zoomによるオンライン</b> (全国どこからでも参加可能)	
<b>主催</b>	一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター	<b>参加費</b> (消費税込)	会員	: 5,000円
			非会員	: 7,000円

### プログラム

<b>13:00</b>	開会の挨拶	一般社団法人KEC関西電子工業振興センター	専務理事 柳川 良文
--------------	-------	-----------------------	------------

<b>13:05</b> ~ <b>13:45</b>	[基調講演] <b>DX時代の製品安全と未然防止 –TQMと信頼性工学の視点より–</b>	電気通信大学	名誉教授・特任教授 鈴木 和幸 氏
-----------------------------------	--	--------	-------------------

「生じたことへの批判は誰でもできる。重要なことは、重大なトラブルをいかに未然に防止するかである。」  
DXもDSも手段であり、目的ではない。TQMと信頼性工学の視点より、DX時代に向けてICT・オンライン活用による製品安全とトラブル未然防止に関し論じる。

----- 質疑応答(10分) / 休憩(10分) -----

<b>14:05</b> ~ <b>14:45</b>	<b>Safety- I とSafety- II からみた製品安全</b>	早稲田大学理工学術院 創造理工学部	教授 小松原 明哲 氏
-----------------------------------	---------------------------------------	-------------------	-------------

定められたとおりに行動することで安全を求めるアプローチをSafety- I、変化する状況にAdjustした行動をすることで安全を求めるアプローチをSafety- II という。自動運転であれば、マシンとしての自動車を誤使用なく正しく操作することは前者であり、道路交通状況に応じた操縦をすることは後者である。製品利用中の安全は、その双方が求められる。その考え方と製品安全への展開を整理したい。

----- 質疑応答(10分) / 休憩(10分) -----

<b>15:05</b> ~ <b>15:45</b>	<b>コンクリート構造物の維持管理へのAI活用</b>	山口大学大学院 創成科学研究科	教授 中村 秀明 氏
-----------------------------------	-----------------------------	-----------------	------------

我が国の社会インフラは、高度経済成長期に建設されたものが多く、厳しい環境の中、老朽化が急速に進んでおります。造ったものは、必ず維持管理が必要であり、今後ますます重要となる維持管理へのAIの活用について、コンクリート構造物を題材に紹介します。

----- 質疑応答(10分) / 休憩(10分) -----

<b>16:05</b> ~ <b>16:45</b>	<b>大型蓄電池の安全性に関する国際標準化とその動向</b>	一般財団法人電気安全環境研究所	技師長 本多 啓三 氏
-----------------------------------	--------------------------------	-----------------	-------------

大容量のリチウム二次電池を搭載した蓄電システムの安全性に関心が高まっており、安全規格、とりわけ国際標準の制定が急がれている。特に重要性が認識されている耐熱性能の評価試験法として注目されているレーザ照射による熱試験について詳細を述べる。また今後さらに注目すべき電池運用中の安全性問題として、電池の劣化に伴う安全性低下の見える化技術についても言及する。

----- 質疑応答(10分) -----

----- 全体質疑(10分) -----

<b>16:55</b>	閉会の挨拶	一般社団法人KEC関西電子工業振興センター 専門委員会推進部	部長 岸本 隆
--------------	-------	--------------------------------	---------

※プログラムは、事情により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<b>後援</b>	近畿経済産業局 大阪府
-----------	-------------

<b>協賛</b>	株式会社島津製作所 パナソニック ホールディングス株式会社 ホシデン株式会社 株式会社村田製作所
-----------	--

# お申込み要領

## 定員

先着 **200**名

## 申込締切

2023年2月2日[木]（定員になり次第募集を締め切ります）

## 申込方法

KECウェブサイトの案内ページ (<https://www.kec.jp/seminar/psf22/>) の“お申込みフォーム”からお申込みください。  
お申込み完了後、ご登録メールアドレスに自動返信メールが送信されます。お申込み内容をご確認ください。ご入力いただいたメールアドレスに誤りがあると自動返信メールが届きません。届かない場合はお問い合わせまでご連絡ください。

## 送金方法

申込締切後、請求書を送付いたします。  
2月13日[月]までに請求書記載の指定銀行口座に参加費をお振込みください。  
振込手数料はお客様ご負担でお願いいたします。

## テキスト

本セミナーのテキストはPDFにて配付します。製本テキストの配付はございません。  
テキストダウンロード専用ページのURLをメールにてご連絡いたします。  
必要に応じて各自テキストをダウンロードしてください。

## 参加方法

参加証等は発行していません。  
開講日の前日までに、聴講用URLが記載された案内メールを送信いたします。  
フォーラム開催日時に、聴講用URLよりログインいただき、ご参加ください。

## 問合せ先

一般社団法人KEC関西電子工業振興センター 専門委員会推進部 事務局 藤田 泰男  
〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台3丁目2番地2  
TEL: 0774-29-9041/FAX: 0774-93-4564/E-mail: publication01@cec.jp

## 開催にあたっての注意事項

- ※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響及び感染防止の観点から、やむを得ず講演内容や配信方法を変更あるいは急きょ配信を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ※ 講演の記録行為（録音・録画・スクリーンショット・撮影）、講演内容の転用、聴講用URLの無断共有、チャットでの誹謗中傷、参加者の情報共有は固く禁止いたします。誓約いただける方のみご参加いただけます。
- ※ 参加申込済みのお客様以外のご参加はお断りいたします。
- ※ 聴講には、パソコン等の情報端末とインターネット環境が必要です。インターネットの回線速度及びパソコンの動作検証についてはお客様にてお願いいたします。  
お申込み前に、当日使用する端末と場所で <https://zoom.us/test> にアクセスし動作確認テストを行ってください。  
回線やパソコンの不具合により、万一聴講ができない場合、後日の再開催やオンデマンド配信等の対応はしておりません。
- ※ Zoomアプリでの聴講を推奨いたします。Zoomアプリは最新版をお使いください。Zoomアプリが利用できない場合は、ウェブブラウザからでも聴講が可能です。ただし、複数端末での聴講は認めておりません。
- ※ お客様のご都合によるキャンセルは原則としてお受けしておりません。
- ※ 入金日（振込連絡日）により、PDFテキストのダウンロードに関するご連絡が遅延する場合がございます。あらかじめご了承ください。

お申込みはこちら

<https://www.kec.jp/seminar/psf22/>